

2015 年 9 月 30 日

関係各位

早稲田大学総合人文科学研究センター研究部門
「グローバル化社会における多元文化の構築」

代表者 吉原浩人

国際シンポジウム「東アジア文化交流—妖異・怪異・変異—」 発表者募集

このほど、早稲田大学総合人文科学研究センター研究部門「グローバル化社会における多元文化の構築」では、早稲田大学多元文化学会・同多元文化論系など各機関と共同主催で、表記の国際シンポジウムを開催することになりました。皆様におかれましては、ぜひご発表・ご参加賜りたく、ご案内申し上げます。下記に概要を記しますが、不明の点につきましては、吉原までお問い合わせいただくたく存じます。

今回は、「東アジア文化交流—妖異・怪異・変異—」というテーマで、開催いたします。ここ数年、中国の浙江工商大学東亜研究院・韓国の蔚山大学校と早稲田大学日本宗教文化研究所との間で、持ち回りでシンポジウムを開催しておりますが、毎年共通する主題として、「東アジア文化交流」とうたっております。今回の副題は、「妖異・怪異・変異」といたしました。近年、アジアの「妖異」や「怪異」についての研究の気運が盛り上がっておりますが、それに「変異」を加えました。地震・津波・噴火・蛇拔（土石流）など、前近代人が人知を超えて奇異なものに感じた自然災害などをも対象にすることもできるからです。現代の、環境問題・原発問題なども、「変異」として読み解くことができましょう。また、異文化接触をも「変異」としてとらえることもできるでしょう。

今回のシンポジウムは、学部学生・大学院生・若手研究者にも、特に枠組みを設け、広く門戸を開いております。国際会議で発表できるまたとない機会に、積極的にご応募くださいますよう、お願い申し上げます。

敬 白

記

主催：早稲田大学総合人文科学研究センター研究部門「グローバル化社会における多元文化の構築」／

同日本宗教文化研究所／中国・浙江工商大学東亜研究院／韓国・蔚山大学校人文大学日本語日本学科

共催：早稲田大学総合人文科学研究センター／同多元文化学会／同文化構想学部多元文化論系

後援：早稲田大学総合研究機構

協賛：中国・浙江省中日関係史学会

会期：2015 年 12 月 19 日（土）・20 日（日）

場所：早稲田大学戸山キャンパス 36 号館・33 号館（詳細未定）

内容：12 月 19 日（土）午後

基調講演／小松和彦（国際日本文化研究センター所長・教授）

パネルディスカッション講師／小峯和明（早稲田大学総合人文科学研究センター客員上席研究員・中国人民大学講座教授・立教大学名誉教授）・陳小法（浙江工商大学東亜研究院教授・早稲田大学日本宗教文化研究所招聘研究員）・徳田和夫（学習院女子大学国際文化交流学部教授・早稲田大学文学学術院非常勤講師）・増子和男（茨城大学教育学部教授・早稲田大学文学学術院非常勤講師）・魯成煥（蔚山大学校人文大学日本語日本学科主任教授）

コーディネーター／吉原浩人（早稲田大学文学学術院教授・同日本宗教文化研究所所長）

12 月 20 日（日）

研究発表／青年論壇・一般発表

※発表人数によっては、19 日午前中に青年論壇を設定します。

発表申込：上記テーマに関連する内容でご発表いただける方は、締切日までに、添付の申込書に必要事項を明記の上、要旨（800 字程度）を添えて、下記連絡先までメールでお知らせください。

申込締切：2015 年 10 月 13 日（火）

発表言語：日本語

発表時間：未定

発表資格：一般研究者ばかりでなく、大学院生・学部学生も歓迎します。ただし、下記の通りシンポジウムの成果出版を予定していますので、400 字詰め 50 枚程度の論文を、終了後に提出できることを条件といたします。

予 稿：予稿集を作成するため、あらかじめ発表内容概要を、原稿にして提出いただきます。締切等、詳細は発表者決定後にご連絡いたします。

発表審査：応募者多数の場合は、一般研究者／若手研究者（含学生）それぞれの枠組みで、発表の可否について審査をさせていただきます。審査委員会は、早稲田大学日本宗教文化研究所・同多元文化学会代表で構成します。

出 版：シンポジウム成果を公開するため、論文集を出版します。詳細は未定です。

参 加 費：交通・宿泊費などについては、自己負担をお願いします。

連 絡 先：吉原浩人 e-mail : yoshi-w@qa2.so-net.ne.jp

以 上

国際シンポジウム「東アジア文化交流—妖異・怪異・変異—」参加申込書

氏 名		所属（職名）	
住 所			
電話番号		e-mail	
発表希望	有 無		
発表予定 題目			